

各位

経営トップ向けセミナー

株式会社日本総合研究所
研究事業本部

医療法人における経営改革セミナー

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社では、かねてより、医療法人に対して経営改革、医療機能再編、病院建設、管理会計制度改革、人事制度改革、情報システム再構築等を支援する様々なコンサルティングサービスを提供してまいりました。今回、医療法人の収支改善を主な狙いとした「経営改革」をテーマに、医療法人の経営者向けにセミナーを企画致しました。

さて、医療法人の経営は国と自治体の医療財政改革および少子高齢化を背景とした医療制度改革の影響を受け、収支面で厳しい局面に入りつつあります。ご存知のように、来年度も日常診療圏における地域完結型医療の構築の方向で大きな医療制度改革が行われる予定です。

しかし、従来から行われてきた、委託の推進、委託費の見直し、購入価格の改善、残業の規制、予算の締め付けには限界があり、医療の質の低下につながりかねない状況も出ております。

このような状況の中で、収支の適正化をはかり経営を安定化させるために、弊社は3つの領域の経営改革を進められることを提案しております。

- (1) 病院の進む方向が適正であること。… 地域完結型医療の中での医療機能の見直しなど
- (2) 運営体制、仕事の仕組みが適正であること。
… 看護師の生産性向上、業務プロセスの適正化、原価計算をベースとする収支管理、医療経営管理システムの充実など
- (3) 職員が意欲的に仕事をされること。… 目標管理制度、能力・成果主義人事制度導入など

本セミナーでは、病院の進む方向を適正化し、運営体制、仕事の仕組みを適正化するところに焦点を絞り、医療法人の経営改革を成功裏に行うための、進め方、方法論について、事例を交えながら皆様方にご提案させていただきます。

なお、本セミナーは医療法人の経営者向けに企画致しました。経営トップ及び経営幹部自らのご参加をお待ち致しております。

敬具

セミナー実施要領

- | | | |
|--------|---|-------------|
| 1. 日 時 | 平成18年1月18日(水) | 13:30~17:00 |
| 2. 会 場 | 東京都千代田区一番町16番
株式会社 日本総合研究所 1階セミナールーム
TEL. 03-3288-4382 | |
| 3. 主 催 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 | |
| 4. 講 師 | 裏面参照 | |
| 5. 対象者 | 医療法人の経営トップ(理事長、理事、局長、病院長、事業管理者)、事務長、
部門長(経営企画、人事、経理、情報システム)、他経営幹部の方々 | |
| 6. 受講料 | 10,000円(資料代込み) | |
| 7. 定 員 | 50名 | |

セミナー実施内容

[セミナー講師]

1. 兼為 勇次郎 弊社主席研究員 ビジネスシステム戦略クラスター長

医療法人の経営改革指導を中心にコンサルティングを実施中。専門は病院の経営戦略の見直し、業務改革およびシステム改革である。

2. 谷口 勝則 弊社主任研究員 公認会計士 会計制度コンサルタント

医療機関及び一般企業における経営管理制度設計や会計制度業務改革を専門とし、当該制度・業務改革とシステム改革との融合を図り、改革を実現するコンサルティングに従事している。

3. 叶内 朋則 弊社研究員

医療法人向け経営改革を情報システムの視点からコンサルティングを実施。医療機関における情報視点の業務改革、情報戦略・システム化構想に従事している。

[セミナーの主な内容]

1. 医療法人の経営改革と経営戦略策定の進め方 (1 3 : 3 0 - 1 4 : 1 0)

- ・ 医療法人の経営環境変化の動向
- ・ 医療法人の経営改革のシナリオ
- ・ 医療法人の経営戦略策定 (医療機能の見直し) およびビジネスモデル設計の進め方

2. 医療法人の業務改革の進め方 (1 4 : 1 0 - 1 4 : 4 0)

- ・ 経営戦略の浸透と経営戦略の業務化の推進
- ・ 業務プロセス改革
- ・ 現状業務を効率化して新たに取組む業務を付加
- ・ 業務改革の進め方 (業務棚卸し、業務量の調査、業務フローチャート、業務プロセスモデル)

3. 管理会計制度改革の進め方 (1 4 : 5 0 - 1 5 : 5 0)

- ・ 医療経営環境の変化と管理会計充実への要請 (医療経営管理における管理会計の全体像)
- ・ 原価計算の精度向上による採算管理の充実
- ・ 診療科別 (部門別) 原価計算から患者別疾病別原価計算への展開
- ・ クリニカルパスに基づく標準原価計算への発展
- ・ D P C の導入における管理会計への要請
- ・ B S C (バランスドスコアカード) 管理をベースとしたマネジメントサイクルの実現
- ・ データに基づく経営管理の充実 (経営情報の一元化)

4. 医療機関における情報システム改革 (1 5 : 5 0 - 1 6 : 5 0)

- ・ 医療機関における情報システムの動向と求められる役割
- ・ データに基づく経営とERPという考え方
- ・ 医療機関における情報システムのあるべき姿
- ・ 誰がどのようにして情報システムを導入すべきか
- ・ 情報システムは導入したら終わりではない

経営改革の必要性

医療法人は公益性が基本にあり、診療報酬制度で収益が確保されてきました。昨今の少子高齢化を背景に診療報酬体系の見直しおよび医療保険制度改革などの環境変化を受けて、医療法人の経営収支は非常に厳しくなっており、適正な経営改革を怠ると法人経営への悪影響は避けられない状況になってきています。

経営管理機能改革の必要性

医療法人経営は、どこに収支上の問題があるのか（診療科別収支、疾病別収支、患者別収支）がわからない中で行われており、また、職員は日々何を目標に活動すれば良いのか（目標管理、業績評価）がわからない中で仕事をしているのが一般的であり、経営改革の推進に支障をきたしています。

そこで、診療科別、疾病別、患者別の原価を把握し、収支を算定する仕組みを構築する必要があります。特に、DPCの導入が進む事を考えると早急に仕組みを作り体制を整える事が重要です。

経営管理を支えるITの必要性

医療業界はプロフェッショナルな人材への依存度が高く、情報システム化が遅れているとされていました。しかし、ITの発展は医療法人に対しても例外なく影響を与え、院内情報化が不可避となるとともに、チーム医療や地域連携医療の流れは医療における情報流通の重要性を高めています。さらに経営面では、競争環境の下で様々なデータをいち早く正確に把握・分析し、的確に経営判断を行なうことが求められます。これらの情報化課題へ如何に対応していくのか、医療法人に求められています。

医療法人経営改革のフレームワーク

● 医療法人における5つの経営改革課題

戦略経営推進 (競争力強化、公益性の明確化)

- 理念、ビジョンに基づく経営戦略の明確化
- ビジネスモデル革新（医療機能の選択と集中）
 - 急性期、回復期、慢性期の選択
 - 入院中心、外来充実、政策医療への取組みの選択
 - 高度医療の実施、地域完結型医療、病病連携、病診連携

経営管理機能強化 (見える経営、計画経営)

- 管理会計制度整備
 - 収支管理、原価管理（結果管理指標）
- マネジメントシステムの確立
 - BSC：バランス・スコアカード管理（先行管理指標）
- 企業会計原則、病院会計準則導入

業務改革（BPR推進） (医療の質の向上) (経営収支の改善)

< BPR: ビジネスプロセスリエンジニアリング >

- 医療の質の向上
- 運用改善（紹介率の向上、在院日数の短縮など）
- 医療収益の増加（入院単価の向上）
- 医療原価低減・支出の削減

人事制度改革 (意識改革、職員満足の醸成)

- 能力・成果主義人事制度導入
- 目標管理制度導入

情報システム整備 (情報の一元管理と有効活用)

- 経営管理システム（ERP・BI導入）
- 病院情報システム（電子カルテ、オーダーリングシステム）
- 情報システム統治、情報システム部門の改革